

# SDGs達成への貢献目指す

## 学生プロジェクト支援

### 岩手大 AIC 高校生向けセミナーも開催

岩手大学・次世代アグリイノベーション研究センター（略称・AIC、下野裕之センター長）は2022年度から、「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への貢献を研究目標に追加し、新体制で研究・教育に取り組む。学生が主体となる学生プロジェクトの支援や高校生らを対象にしたセミナーも開催し、次世代の育成につなげる。

今年度からセンターが「決めるための研究センター」であり、課題を突破するコアになり、研究成果を共有し、発表し、「持続可能」な方向性を示した。性についての課題を解

同センターは、岩手大の特色である農業分野の基礎研究を発展・活用。次世代農業のイノベーションを先導する基盤・応用研究拠点の構築を目指し、18年4月に学内に設置された。

22年度からは、「生物生産」「食と生活」「生産環境」の3部門を柱に、画像解析などを専門とするデータサイエンスグループを含めて、13人の教員を配置。それぞれの専門分野を生かしながら、気候変動に適応する持続的な農業技術の開発や生物多様性の維持など、同大の特色を生かした技術開発を推進する。

具体的な取り組みとして、亜熱帯産のイネを初冬に種まきして翌年秋に収穫し、農家の負担軽減とほ場の規模拡大を図る新技術の開発（生物生産部門）、ウシの林間放牧による

人と野生動物の緩衝帯の創出（生産環境部門）などが挙げられる。13人のメンバーが中心になって、研究、実証実験し、社会の課題解決を目指す。

「次世代アグリ学生プロジェクト」として、同大の学生からプロジェクトを募集し、7番講義室。

参加無料。申し込みは、電子メール aic@ivata-nac.jp か電話 019-621-6085。

プロジェクトを募集し、採択された課題には1件あたりの上限10万円を支援。AICに所属する教員が1年を通して研究活動を支援する。一般市民や高校生向けには、所属教員が講師を務める「AICセミナー」を開催。研究成果を市民と共有し、高校までの学習を大学の学びにつなげる機会とする。

開催は月1回程度。6月2日は「次世代アグリイノベーション研究センターが目指すもの：人新生の農学とSDGs」、同27日は「微生物のちからをかりて、世界が喜ぶ環境に優しい技術を創ろう」で、いずれも午後5時～同6時。会場は農学部総合教育研究棟（生命系）7番講義室。



岩手大学・次世代アグリイノベーション研究センターの活動について話す下野裕之センター長